ユネスコ群馬 No.88

Unesco Gunma

群馬県ユネスコ連絡協議会 ／ http://gunma-unesco.com　　会長　岸 正博 ／ 群馬県教育委員会生涯学習課

つなげよう平和の心　広げようユネスコの輪

ユネスコ「教育勧告」と今年度の県ユ連

群馬県ユネスコ連絡協議会
会長　　岸　正博

2023年11月20日、第42回ユネスコ総会において「平和と人権、国際理解、協力、基本的自由、グローバルシチズンシップおよび持続可能な開発のための教育に関する勧告」という長いタイトルの勧告が、今回は194の国連加盟国全会一致で採択されました。

1974年の教育勧告から50年ぶりに改訂されたもので、読み書き計算以外に、現代の社会では何を重視すべきかが示されています。認知的なスキルだけにとどまらず、社会情動的スキルや、行動的スキルといったものを統合した学び、「頭と心と手」を包括的に育てるための教育(ESD/SDGs)です。

教育とありますが、もちろん学校教育だけではなく、広く家庭(保護者)や地域、そして民間団体など、全ての教育組織、機関、そして個々人の教育者にかかわる包括的、包摂的な勧告です。

「74年教育勧告」はわが国では十分に受け止めきれず、今日を迎えた感がありますが、地球規模の課題が山積する中、新たな名称のもとに生まれ変わった「新教育勧告」を正しく理解し、それぞれの立場でできることを一歩踏み出し、「ともに」やっていくことが求められています。これは日本の教育の一つの希望となりうるものであり、持続不可能な課題がますます増大し、社会の分断化が進んでいる現状において、その解決に「連携とつないでいく」ことの重要性を感じています。つなぐには課題と向き合わねばなりません。向き合うとは課題の解決に向けて行動することです。

折しも、2026年10月に関ブロ群馬大会が沼田市で開催されます。時代に合わせて提起された「新教育勧告」のプラットホームの上にのせ、協議を深め、できるところから実践につなげていきたいと考えています。

群馬から未来へ －ユネスコ活動への期待－

群馬県知事
山本　一太

日頃より、群馬県ユネスコ連絡協議会の皆様には、教育・文化・科学の各分野にわたる幅広いご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。皆さまの活動は、群馬県の未来を切り拓く大きな原動力となっています。

群馬県では「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が誰ひとり取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会」の実現を目指しています。具体的な未来構想として、「リトリートの聖地」、「クリエイティブの発信源」、「レジリエンスの拠点」を掲げています。「リトリートの聖地」とは、豊かな自然や温泉、食などの群馬の強みを生かした取組です。群馬の『温泉文化』は、まさにその象徴であり、現在進めているユネスコ無形文化遺産登録への挑戦は、世界に向けた大きな発信です。また、教育や文化交流を重視するユネスコ活動は、「クリエイティブの発信源」として、新しい文化や産業を生み出すための創造的な力の育成を後押ししています。さらに、SDGsやESDといったユネスコの理念に沿った活動は、「レジリエンスの拠点」として、災害や困難に強く、人と地域がしなやかに支え合う持続可能な社会を支えます。

群馬には、世界に誇れる自然、文化、そして人がいます。ユネスコ活動を通じて、群馬の魅力をさらに磨き上げ、未来への扉を開いていきましょう。

2025年度　活動方針

1-活動テーマ

広げよう 平和の心
― 持続可能な社会の実現を目指す民間ユネスコ活動 ―

2-趣旨

世界は第二次世界大戦の反省の上に平和を希求し、ユネスコ憲章を作成した。この前文に「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。‥よって平和は、失われないためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない」とある。

現下の国際状況は国際平和を脅かす深刻な事態に陥っており、活動テーマのもと、改めてユネスコの普遍的な使命を再確認することが必要となっている。

日本ユネスコ国内委員会は、「国際情勢等を踏まえたユネスコ活動等の推進についての提言」(2024)として、リーダーシップの発揮、ネットワークの活性化及び広報の強化を提言している。

そこで、2025年度の県ユ連活動方針として、次の3点をあげる。

(1) 教育、科学、文化、情報・コミュニケーションを通じた平和な世界への貢献

ユネスコ精神を普及し、平和の活動の輪を広める
「メデイア情報リテラシー」の重要性の認識・発信

(2) ESD/SDGsの推進

SDGs全ての目標達成に貢献する持続可能の開発のための教育(ESD)を推進する。
ユネスコスクールの拡充・質的向上。人権、環境、防災、多文化共生、インクルーシブ社会など、それぞれの地域の実情を踏まえた課題を「自分ごと」として捉え、グローカル(地球規模で考え、地域で行動する)な視点で探究し、課題解決できる人材の育成。

(3) 文化多様性の擁護

文化遺産・自然遺産・未来遺産等にかかわる情報発信や保護・保全の活動を推進する。
経済・社会・個人の生活のありようも含め、自立した個人として人間開発を目指し、一歩踏み出し、できることをやる。

ユネスコ「平和、人権および持続可能な開発のための教育に関する勧告」(2023)が50年ぶりに改訂された。勧告のハイライトは、①平和に関する新たな理解、②持続可能な開発のための教育、③グローバルシティズンシップ教育、④ジェンダー平等と教育、⑤デジタル時代の教育である。

「多様な主体間の連携・協働」が民間ユネスコ活動の役割として期待されている。ユネスコ協会のプレゼンスの向上とともに、ネットワークの活性化及び広報活動の強化を一層進める。

※2026年度の関ブロ・群馬大会開催に向け、オール群馬で準備に取り組むとともに、ユ協としての課題意識を持ち、各事業の展開を行う年度とする。

2025年度　事業計画

	事　業　名	期　日	会　場	備　考
県ユ連主催事業	定期総会	5月11日(日)	利根沼田文化会館	＜沼田ユ協主管＞事業・決算報告、事業計画(案)予算(案)等審議
	運営研修会兼事務局員研修会	1月25日(日)	高崎市中央公民館	＜高崎ユ協主管＞
	研修視察	6月 1日(日)	碓氷峠鉄道施設	＜安中碓氷ユ協主管＞
	海外青年交歓研修会	中止		
	広報誌「ユネスコ群馬」第88・89号刊行	発行７月1日　1月31日	2,200部印刷	＜県ユ連編集委員会担当＞年２回発行(会員全員及び関係者に配布)
同	ユネスコスクール研修会	1月27日(火)	地域づくりセンター藤岡	＜ユネスコスクール委員会担当＞
	世界遺産研修会	休止	「研修視察」と統合	＜世界遺産委員会担当＞
補助事業	国際理解バス	8月を中心に県内のユ協が実施予定	訪問先は東京又は筑波JICAや都内大使館等	＊国際理解・国際交流を図るため、各ユ協が児童・生徒対象に実施
	文化活動補助―絵画等作品展の補助―	県内6ユ協がユ協毎に実施	各ユ協が会場を設定	＊児童・生徒の絵画等の作品の展示会を単位ユ協が行う。
会議	理事会・関ブロ実行委	年間6回(隔月開催)	地域づくりセンター藤岡(3階大会議室)	4/10(木)7/10(木)9/11(木)11/13(木) 1/15(木)3/12(木)
	役員会議・関ブロ実行小委	同	藤岡市・教育庁舎3階会議室※(学習セ北棟307)	4/2(水)6/24(火)※8/26(火)10/28(火)12/23(火)2/24(火)
	新年懇親会	2月 7日(土)	県庁・ヴォレ・シーニュ	
日ユ協連等	日ユ協連定時総会	6月14日(土)	新宿エルタワー	
	日本ユネスコ運動全国大会	10月18日(土)	石川県立音楽堂	石川県金沢市
	関ブロ大会	9月27日(土)	深谷市民文化会館	埼玉県深谷市
	平和の鐘を鳴らそう！	7月～8月	沼田7/12、前橋6/21	民間ユネスコ運動の日(7/19)
	評議員会※理事会に出席	8/2(土)2/14(土)	※新宿エルタワー	※5/17　6/14　7/12　9/13　11/15　1/24　3/14
その他	世界寺子屋運動(日ユ協連と連携・協力)	通年		県内各ユ協が「書きそんじハガキ・キャンペーン2026」を推進
	災害子ども支援募金(日ユ協連と連携協力)	通年		県内各ユ協が募金を継続、震災被災者への就学支援

2025年度　各ユ協総会開催期日

桐生ユ協	5月23日(金)	高崎ユ協	5月10日(土)	安中碓氷ユ協	5月23日(金)
太田ユ協	5月10日(土)	富岡ユ協	6月 6日(金)	藤岡地方ユ協	5月 8日(木)
前橋ユ協	5月17日(土)	沼田ユ協	6月 3日(火)	大泉ユ協	5月10日(土)
伊勢崎ユ協	5月20日(火)	館林ユ協	4月25日(金)		

2025年度　国際理解バス実施

太田ユ協	7月31日(木)富岡製糸場他	館林ユ協	7月24日(木)栃木県防災館、大谷資料館他
高崎ユ協	8月21日(木)JICA市谷、メキシコ大使館	藤岡地方ユ協	8月27日(水)JICA市谷、カンボジア大使館
富岡ユ協	8月	大泉ユ協	8月 5日(火)JICA筑波、JAXA
沼田ユ協	8月 8日(金)JICA筑波、JAXA		

2025年度　各ユ協作品展開催予定

太田ユ協	11月 7日(金)～11月11日(火)	伊勢崎ユ協	8月19日(火)～ 8月22日(金)
前橋ユ協	10月 4日(土)～10月12日(日)	高崎ユ協	10月17日(金)～10月22日(水)
安中ユ協	11月21日(金)～11月23日(日)	富岡ユ協	2月 6日(金)～ 2月 8日(日)
大泉ユ協	隔年開催		

2025年度　群馬県ユネスコ連絡協議会　予算

1 収入

項目	2024年度　予算(円)	2025年度　予算(円)	摘要
繰越金	50,310	33,255	前年度繰越金
会費	450,000	440,000	会費　(40,000円×11ユ協)
事業収入	370,000	370,000	事業費　220,000円(20,000円×11ユ協) 名刺交換代　150,000円(2,000円×75人)
補助金	70,000	70,000	群馬県教育委員会補助金
雑収入	2	143	普通預金利子
合計	940,312	913,398	

2 支出

項目		2024年度　予算(円)	2025年度　予算(円)	摘要
会議費		15,000	17,000	理事会等会議費
旅費		50,000	50,000	各種旅費
通信費		10,000	10,000	切手等通信費
印刷費		300,000	300,000	<内訳>各種印刷経費　50,000円 広報「ユネスコ群馬」年2回発行　250,000円
消耗品費		25,000	25,000	事務用品等消耗品費
事業費		395,000	368,000	
事業費内訳	単ユ協助成	143,000	110,000	10,000円×11ユ協
	県ユ連総会	30,000	30,000	沼田ユネスコ協会
	運営研修	50,000	50,000	高崎ユネスコ協会
	海外青年交歓研修	50,000	0	中止
	研修視察	0	50,000	安中碓氷ユネスコ協会
	世界遺産委員会	0	0	中止
	ユネスコスクール委員会	50,000	60,000	藤岡地方ユネスコ協会
	国際理解バス	14,000	14,000	2,000円×7ユ協(館林、大泉、藤岡地方、沼田、太田、富岡、高崎)
	HP維持管理費	30,000	30,000	HP作成委員会
	文化活動補助費	28,000	24,000	4,000円×6ユ協(伊勢崎、前橋、太田、高崎、安中碓氷、富岡)
構成員負担金		6,600	6,600	県教育振興会会費3,000円、日ユ協連会費3,600円
積立金		100,000	100,000	<内訳>関ブロ積立金　50,000円 創立60周年記念事業積立金　50,000円
慶弔費		20,000	20,000	
予備費		18,712	16,798	
合計		940,312	913,398	

県ユ連定期総会を開催

沼田ユネスコ協会事務局長　大島　俊夫

2025年5月11日(日)、県ユ連定期総会が利根沼田文化会館を会場に、約60名の参加で開催されました。最初に、沼田ユネスコ少年少女合唱団の子どもたちの歌声で、和やかな雰囲気の中でスタートしました。

まず、岸会長からは、来年度の関ブロ群馬大会の会場地として予定している沼田市で定期総会を開く意義や方針についてお話があり、次いで、地元ユ協の石田会長の挨拶、来賓の県教委箱田社会教育主監、星野沼田市長、中村市議会議長、竹之内市教育長から心のこもった祝辞をいただきました。

議事では昨年度の事業報告・決算報告・監査報告、今年度の活動方針・事業計画・予算の承認を得た後、2026年の関ブロ群馬大会の事業計画概要の説明を聞き、利根沼田文化会館の小林館長や職員の案内で館内を視察しました。閉会のまとめをする中で、オール群馬で関ブロ大会に取り組んでいこうとする意識が高まりました。

開会行事

オープニング・セレモニー

県境をこえて懇話会

桐生ユネスコ協会会長　田中　一枝

3月22日(土)桐生ユネスコ協会主管で、「両毛地区ユネスコ懇話会」を開催しました。会場は、創立105年(大正8年築)の有形文化財桐生倶楽部会館です。

足利、太田、佐野、館林、大泉、開倫、桐生のユネスコ協会が県境をこえて合流し、各クラブの活動や今後の方針等を報告するもので、この日来賓として、荒木恵司桐生市長、岸正博県ユ連会長に参加いただきました。

会長より「世界平和や持続可能性という理念を希求し、覚悟と責任を持って、自分らしく活動してゆきましょう」と大変意義のある挨拶をいただきました。県境をこえてユ協が連携し、協議を深める活動は、今後、全国モデルともなるものです。

午後、国の重要文化財となった桐生天満宮を参拝、宮司の前原勝氏は、桐生ユネスコの理事でもあります。この日は、徳川家康の命により、天満宮から浄運寺まで、桐生新町の町割りを計画した、大野八右衛門の命日であることに、何故か偶然とは言えない運命を感じました。

懇話会

桐生天満宮参拝

参加者集合写真

「2026年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in群馬」を沼田市で開催

関ブロ実行委員会事務局長　大島　俊夫

来年度の関ブロ大会は2026年10月24日(土)に、関東ブロック1都5県から参加者を招き、沼田市の利根沼田文化会館及びホテルベラヴィータを会場に開催されます。

この大会でのテーマは「広げよう　平和の心ー持続可能な社会の実現を目指す民間ユネスコ活動ー」と設定し、自然と人間が共生する森林文化都市、沼田市を研究会場とし、第1分科会「平和活動・国際協力」、第2分科会「ESD/SDGs・ユネスコスクール活動」、第3分科会「世界遺産・未来遺産・自然との共生」の研究会を通して、会員等相互のネットワークの活性化を図りたいと考えています。

全体会場となる利根沼田文化会館

訃報　謹んでお悔やみ申し上げます

群馬県ユネスコ連絡協議会元会長
太田ユネスコ協会元会長
長南　　清氏
5月30日に98歳でご逝去されました。

1995年～1999年県ユ連会長、1994年～2001年日本ユネスコ協会連盟中央委員。1996年関ブロ・ユネスコ活動研究会群馬大会、1999年県ユ連創立30周年記念式典事業を主催。世界寺子屋運動、国際理解教育を通して、ユネスコ運動に先達として活躍されました。

2025年度　本部役員・事務局員

会　長	岸　正博	藤岡地方
副会長	中村　利光	太　田
同	串田　昭光	高　崎
同	石田　宇平	沼　田
監　事	矢野　薫	安中碓氷
同	寺西　弘之	大　泉
事務局長	依田　治雄	藤岡地方
事務局次長	木村　順子	同
書記・会計	貫井真由美	同

- あとがき -

2025(令和７)年度県ユ連定期総会を沼田市において開催し、議事も滞りなく終了しました。来年10月に「関東ブロック・ユネスコ活動研究大会」が群馬県(沼田市)で開催されます。総会で確認した活動方針のもと、県内各ユ協の着実な実践を積み重ね、「オール群馬」の意識を盛り上げて関ブロ大会に向け、頑張っていきましょう。

本年度も巻頭に山本県知事様より、玉稿をいただきました。会員の大きな力になると思います。感謝申し上げます。

(事務局長　依田　治雄)

群馬県ユネスコ連絡協議会　加盟団体(設立順)

- 桐生ユネスコ協会
- 太田ユネスコ協会
- 前橋ユネスコ協会
- 伊勢崎ユネスコ協会
- 高崎ユネスコ協会
- 富岡ユネスコ協会
- 沼田ユネスコ協会
- 館林ユネスコ協会
- 安中碓氷ユネスコ協会
- 藤岡地方ユネスコ協会
- 大泉ユネスコ協会

編集・発行

群馬県ユネスコ連絡協議会
発行責任者　　岸　正博
群馬県前橋市大手町1-1-1
群馬県教育委員会生涯学習課内
TEL：027-226-4668

編集・印刷

株式会社大塚カラー
群馬営業所
群馬県高崎市足門町1637-7
TEL：027-384-3307